

セメスター便り9月

私たちが8月30日に、天津・南開大学に到着してから、既に1か月が過ぎました。

今回のセメスター留学は、中国文学科2年生、38名が参加しています。

9月は、様々な事情と重なり、大学外に出ることについては制限がありましたが、皆、楽しく忙しい毎日を過ごしています。

★南開大学での生活①



私たちの1日は、朝 7:00～の太極拳から始まります。週4回、早朝から行われるので、起きることがとても辛いですが、皆、毎朝頑張って参加しています。

また、大学内には、早朝から、運動場ではバスケやテニスをしている人がいたり、湖では、音読をしている人たちがいたりするのに驚きます。

中国語の授業は、月曜～金曜の午前中にあります。小班と大班の2つの授業があります。小班は、少人数で行われ、授業は、前日の授業の復習や、発音練習が中心です。大班は、大人数で行われ、文法の講義が中心の授業です。予習を前提としたテストが毎回行われるため、予習復習がかかせません。



二胡



また、週2回、中国文化講座が開かれます。二胡、京劇、武術、相声（中国の漫才、日本でいう落語のようなもの）の中から2種類を選択して授業を受けます。どの授業も、興味深いものばかりです。12月には発表会が行われるようです。

水曜日には、引率の佐川先生によるテーマ別講義（「天津と天津ゆかりの人物」）が行われます。

・語学パートナー

9月7日に語学パートナーとの顔合わせ会がありました。語学力を高めるべく、語学パートナーとともに、授業の復習や、中国語を勉強します。自分の言いたいことがうまく伝わらず、もどかしい思いをしましたが、中国語を頑張ろうと思うきっかけのひとつとなりました。



★南開大学での生活②

大学内は、とにかく広いので、自転車を使えない私たちは、かなり歩きます。大学自体がひとつの街ようになっており、たくさんの食堂、体育館、スーパー、市場、理髪店、宿舎、カフェなどがあります。また、食堂や市場で、毎日のように通えば、常連として、お店の人と話をする仲になれます！大学内は、気さくな方がたくさんいます。



市場の果物



食堂



★南開大学の外は

休日は、様々な観光スポットに行く人が多いです。



古文化街



少し変わった形の
タクシー



天津タワー



意式風情区

★9月を振り返って

中国に到着してから、毎日が驚きの連続でした。

道路の渡り方や、食堂の様子、街の様子など、日本で当たり前だったことが当たり前ではない状況に、初めは戸惑いを隠せませんでした。

しかし、生活をしているうちに、中国の文化を実際に見たり、直接肌で感じたりすることが、留学の醍醐味であり、面白さであることに気が付きました。

特に9月は、そのことを一番感じる月だったのではないかと思います。

また、中国語を学ぶにしても、観光を楽しむにしても、自分から積極的に動くことの大切さを痛感しています。

留学生活が始まってから1ヶ月が過ぎ、体調を崩す人も増えてきましたが、それぞれが、中国での生活を楽しめるようになってきました。

残りの留学生活も勉強に遊びに一生懸命になり、充実した毎日を送りたいです。

(中国文学科2年 井上加菜)

